

平成24年1月 環境省

総合モニタリング計画に基づくモニタリング実施状況（環境省：水環境、自然公園、廃棄物）

対 象	実施範囲・測定地点	分析内容	実施状況	今後の予定
水環境	公共用水域 【実施範囲】 福島県、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県の全域及び岩手県、山形県、千葉県の一部 【測定地点】 公共用水域（河川、湖沼・水源地、沿岸（水浴場含む））の環境基準点等	【核種分析】 <試料> 水質、底質、環境試料（土壌） <対象核種> 放射性ヨウ素 放射性セシウム 放射性ストロンチウム（一部底質） 【空間線量】 各測定地点の近傍	【福島県内】 ・ 1回目（9月～10月） 193地点（河川113、湖沼46、沿岸34）において実施（公表済）。 ・ 2回目（11月） 192地点（河川113、湖沼45、沿岸34）において実施（分析中）。 ・ 3回目（1月：実施中） ※福島県内の河川、地下水の一部調査は、『旧緊急時避難準備区域の復旧を支援するための放射線モニタリングアクションプラン』と連携。 【その他の地域】 ・ 1回目 茨城県8月～10月（128地点 公表済） 宮城県10月～11月（138地点 公表済） 栃木県10月（115地点 公表済） 山形県10月（12地点 公表済） 千葉県10月～11月（49地点 公表済） 群馬県11月～12月（69地点 公表済） 岩手県1月（実施中）	【23年度内予定】 ・ 福島県 3月に4回目調査を実施予定。 ・ その他の地域 1～2月に2回目調査を実施予定。 【24年度】 福島県を中心に、公共用水域の水質、底質、環境試料（土壌、水生生物）のモニタリングを実施予定。
	地下水 【実施範囲】 福島県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、岩手県、群馬県、千葉県の全域 【測定地点】 環境基準の概況調査地点等	【核種分析】 <試料>水質 <対象核種> 放射性ヨウ素 放射性セシウム 放射性ストロンチウム（一部）	・ 1回目 宮城県10月（39地点 公表済） 山形県10～11月（41地点 公表済） 福島県10～11月（271地点 公表済） 茨城県10月（44地点 公表済） 栃木県10月（38地点 公表済） ※岩手県、群馬県、千葉県は今後実施予定。	【23年度内】 2月～3月に2回目調査を実施予定。 【24年度】 福島県を中心に、地下水の水質のモニタリングを実施予定。

対 象	実施範囲・測定地点	分析内容	実施状況	今後の予定
海洋環境	<p>【実施範囲】 福島県北部から青森県の沖合</p> <p>【測定地点】 離岸1km、10km、20kmの地点等</p> <p>※化学物質等による海洋環境への影響調査に併せて実施。</p>	<p>【核種分析】 ＜試料＞海水、海底土</p> <p>＜対象核種＞ 放射性セシウム 放射性ストロンチウム（海底土）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目（8月下旬～9月上旬） 3側線（宮古、仙台、相馬）の各3測点（離岸1km、10km、20km）において実施（公表済）。 ・ 2回目（12月上旬） 7側線（八戸、宮古、陸前高田、南三陸、石巻、仙台、相馬）の各3測点（離岸1km、10km、20km）及び山田、大槌、釜石、気仙沼の4測点において実施（分析中）。 	<p>【23年度内】 終了</p> <p>【24年度】 福島県北部から青森県の沖合においてモニタリングを実施予定。</p> <p>※測定地点等は文部科学省取りまとめの海洋モニタリングと調整。</p>
自然公園	①自然公園モニタリング			
	<p>【実施範囲】 東京電力株式会社福島第1原子力発電所から概ね100km圏内の国立公園、国定公園、県立公園（宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県）</p> <p>【測定地点】 湧水及び拠点施設で用いる山水・沢水の取水口</p>	<p>【核種分析】 ＜試料＞水質</p> <p>＜対象核種＞ 放射性ヨウ素 放射性セシウム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目（10月下旬～11月中旬） 23地点（国立公園7、国定公園6、県立公園10）において実施（公表済）。 ・ 2回目（12月中旬） 16地点（国立公園2、国定公園5、県立公園9）において実施（公表済）。 	<p>【23年度内】 終了（積雪のため）</p> <p>【24年度】 福島県を中心とした国立公園、国定公園、県立公園においてモニタリングを実施予定。</p>
	②野生動植物モニタリング			
	<p>【実施範囲】 東京電力株式会社福島第1原子力発電所周辺地域（警戒区域内外）</p>	<p>＜試料＞ 野生動植物 （イネ科1年草、マツ、アカネズミ、ムラサキイガイ等）</p> <p>＜対象核種＞ 放射性セシウム等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで、警戒区域内外の陸域21箇所、海域4箇所において試料採取。 <p>※調査は関係機関と連携し、分析は他機関による実施。</p>	<p>【23年度内】 採取、分析を継続。長期的モニタリング方法の検討。</p> <p>【24年度】 警戒区域内外において、調査を継続予定。</p>

対 象	実施範囲・測定地点	分析内容	実施状況	今後の予定
<p>廃棄物</p>	<p>【実施範囲】 福島県内</p> <p>【測定地点】 ①福島県内の廃棄物焼却施設及び最終処分場</p> <p>②警戒区域内及び計画的避難区域内の廃棄物仮置場</p>	<p>①【核種分析】 ＜試料＞ 排ガス、主灰、飛灰、処理汚泥、排水、放流水、浸出水、地下水</p> <p>＜対象核種＞ 放射性ヨウ素 放射性セシウム</p> <p>【空間線量】 廃棄物焼却施設及び最終処分場の周辺</p> <p>②【核種分析】 廃棄物における放射性セシウム</p> <p>【空間線量】 仮置場の直近及びバックグラウンド</p>	<p>①・1回目（10月中旬～11月上旬） 12箇所（廃棄物処理施設6、最終処分場6）において実施。</p> <p>・2回目（11月末～12月中旬） 同上</p> <p>※測定結果は災害廃棄物の安全性評価等の検討に活用</p> <p>②10月～12月に、5市町村（南相馬市、浪江町、双葉町、富岡町、楡葉町）計25地点において実施（核種分析は25地点で約600試料）。</p> <p>※測定結果は災害廃棄物の安全性評価等の検討に活用</p>	<p>①【23年度内】 年度末までに1回、調査を実施予定。</p> <p>【24年度】 放射性物質汚染対処特措法に基づき市町村が実施するモニタリングを支援、取りまとめ。</p> <p>②【23年度内】終了</p> <p>【24年度】 廃棄物の処理に向けた取組の実施。</p>

○ 公共用水域における放射性物質モニタリングの実施状況(1月24日現在)

